

別紙2 (様式第5号関係)

事業の実績

団体名	特定非営利活動法人 ふうしすてむ		
事業名	障害者対象のインターネットを使った在宅就業管理システムの開発		
事業の種類 〔どれか一つに○をつけてください。〕	① 高齢者や障害者に対する福祉サービスや支援活動に関する事業 2 子育て支援に関する事業 3 地域福祉活動に関する事業 4 福祉と医療の連携推進に関する事業 5 その他社会福祉の向上に関する事業		
事業実施日時	事業実施場所	事業従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
23年8月 ～ 24年1月	見学と研修 各地 開発 松山事務所 講習 県下	5名 4名 2名	ソフト使用者 約30名 受講者 2名
<p>1 実施事業の内容及び結果</p> <p>先進地見学</p> <p>8月30日 旭化成水島アビリティーの訪問</p> <p>9月8日 滋賀県大津市社会的事業者の見学</p> <p>9月9日 岐阜県バーチャル工房岐阜の訪問見学</p> <p>11月21日 東京 Wecan世田谷、東京コロニーの訪問見学</p> <p>11月22日 eラーニングの現状を東京のセミナーで体験する。</p> <p>在宅者に対する遠隔操作のIT講習</p> <p>7月 宇和島ハローワークより特別支援学校生徒の紹介があり、先生と面談。 新居浜支援センターエールより、在宅者の学習希望者の紹介を受けた。</p> <p>8月 八幡浜ねっとworkジョイより難病者の遠隔授業の相談があった。</p> <p>11月11日 遠隔授業受講希望者宅を訪問、機器の設置と説明を行う。</p> <p>12月 受講者パソコンが故障のため授業を中止。訪問のみ。</p> <p>1月17日 遠隔授業受講希望者宅を訪問、研修のスタート(ソフトウェアの使用方法)</p> <p>1月18日 セキュリティー協会の遠隔研修の実施テストがあった。</p> <p>管理ソフトの開発</p> <p>6月 ほぼ完成。実務に使用し完成度を高める。当ソフト開発者を雇用した。</p> <p>7月 使用者のデータ入力開始</p> <p>8月8日 仕様者の意見をまとめソフトの修正を検討。</p> <p>9月 実務での使用開始 10月 本格的に活用の開始</p>			

2 事業を実施したことにより団体が得た成果

在宅就労者の仕事の進み具合や課題が一覧できて便利になった。  
在宅での研修にインターネットを使った遠隔授業が出来る様になった。

3 事業を実施したことにより県下に波及される効果

インターネットを使った遠隔授業、現在は1：1であるが1：多数、多数：多数の研修にも応用できる、これを利用した障がい者のIT講習会を計画したい。

メディア（CD、DVD等）の使用やe-ラーニングと共に遠隔授業は山間部島嶼部の多い愛媛県の外出が難しい人たちの学習に有用になる。

4 事業結果を踏まえた来年度以降の当該事業の予定

自立支援法に基づく就労継続事業（在宅）に今回の仕事管理システムを利用したい。  
遠隔地のIT講習会や在宅重度障がい者・難病者のIT講習に利用したい。

## 別紙3（様式第5号関係）

## 収 支 決 算 書

## 1 収入の部

区 分	決 算 額 (円)	摘 要
県補助金	300,000	
自己資金	21,370	
合 計	321,370	

## 2 支出の部

区 分	決 算 額 (円)	摘 要
[補助対象経費] 旅費	262,000	滋賀・岐阜 2名 水島 1名 東京 3名 在宅受講者自宅(県内) 1～2名3回
需用費	7,300	Webカメラ
備品購入費	52,070	ワイヤレスマイク @¥26,035 2個
小 計	321,370	
[補助対象外経費] 小 計	なし 0	
合 計	321,370	